



日合商は昭和52(1977)年に合板・建材を扱う流通業界の活性化と、関係官庁に意見書が提出できる組織として発足した歴史ある組織であり、業界唯一の国の認可団体です。その「会勢強化」は、業界の活性化につながるもので、また、新規会員・賛助会員の数が増えることで関係官庁への発言力も増し、社会的な影響力も拡大していくものと考えています。

年頭所感



日本合板商業組合
理事長 足立 建一郎

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆さま、賛助会員の皆さま、
本年も宜しくお願ひ申し上げます。
また、昨年の豪雨や地震で被災された皆様には、
心よりお見舞い申し上げますとともに
一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、昨年の世界の経済情勢を顧みますと、二年以上続く世界経済の安定した回復基調にも地域による成長のばらつきが見られ始めました。また米国安全保障を背景とした貿易制限措置などの通商政策により、成長の下振れリスクが高まり、地政学的緊張も見られました。国内では、豪雨・地震による災害の影響もあり景気回復基調にも足踏み感が見られましたが、10月に第4次安倍改選内閣が発足し、「復興・国土強靭化」「生産革命による経済成長」「労働制度等の社会保障改革」「地方創生」の政策の基本方針が示されたところです。本年の世界経済は、成長環境のなか景気後退や金融の引き締めへの耐性強化の準備が必要とされます。一方国内は、雇用・所得環境の改善は堅調で

個人消費は持ち直し、企業収益の改善による設備投資の増加など内需がけん引する景気回復が続く見込みです。

昨年の住宅需要は、貸家の着工減の影響から全体では前年比で微減すると予想されます。本年は、前半に消費増税の駆け込み等による持家と分譲戸建の増加が見込まれます。しかし政府による駆け込み効果平準化策等により、全体の増加効果は過去の増税時に比べ小規模と予測されます。

また昨年の国内の住宅資材は、国産針葉樹合板の需要用途の拡大は進み、針葉樹構造用合板の需要家への供給もタイトな状況が改善しました。しかし組合として積極的に対応を進める「働き方改革」に関連する運転手不足などの物流問題は、深刻さを増しています。本年も輸入に関連する合板や建材などは、産地からの供給の安定化が望まれますが、国内の針葉樹構造用合板も需要に見合った供給が望れます。

このような環境のなか、日合商は、合法木材等の利用と普及・拡大を主要な活動の一つとし、各支部で研修会を進めて参りました。特にクリーン

ウッド法では、グリーン購入法に基づく合法性確認方法が活用できることになりました。本年も、引き続き合法木材等の利用促進、木造住宅への補助政策の拡大等への陳情等により、政府施策と組合員の事業との関係性が深まるよう取組みを進めます。また組合員を中心とする会員向け勉強会・研修会・親睦会を各支部と共同で実施し、日合商の基盤強化を目指して参りたいと考えております。

日合商の会勢の強化に関しては、合法木材等の供給事業者の認定取得等のための入会による増加、一方事業撤退等による退会の結果、組合員数は829社(2018年9月末日)となっています。引き続き、組合員・準会員・賛助会員の皆様のご協力を仰ぎ、1,000社を超える組合を目指して邁進していく所存です。

本年も、会員相互の「協調と連帶」のもと、情報の早期収集と発信を通じ、組合員の皆様の事業の拡大・強化に貢献して参りたいと考えております。

会員の皆様と連帶し成果を手に入れる年とすることを祈念して、年頭のご挨拶とさせて頂きます。



ジユーテックホールディングス株式会社
代表取締役社長 足立 建一郎

そこから「未来への突破力」が
見えてくるはずだ。
斬新な視点で自分の役割を
凝視してみよう。
いまを「肯定」していくは、
未来が見えてこない。
未来は過去にも見え隠れする。
そのための「突破力」をいまから
フル回転させなければいけない。
あつという間だ。

100年、その闘い。
昨年、95周年を迎えた。
4年後の100周年まで



2018年12月19日に行われた林野庁主催「平成30年度第3回木材需給会議」での検討結果が公表されました

主要木材の入荷量			丸太							輸入製材品							合板			構造用集成材		
四半期	区分	製材用 合板用	国産材			輸入丸太				米材	欧洲材	南洋材	北洋材	NZ/チリ	計	国内製造	輸入	計	国内製造	輸入	計	
			米材	南洋材	北洋材	NZ/チリ	計															
平成30年	7-9月 実績	実数(千m ³)	2,931	1,067	3,998	614	29	30	113	786	523	622	100	157	102	1,504	803	661	1,464	450	197	647
		前年比(%)	101.2	109.9	103.4	93.0	52.7	111.1	110.8	93.1	95.3	86.0	87.7	101.9	125.9	92.8	98.4	97.9	98.2	111.1	90.0	103.7
10-12月 見込み	実数(千m ³)	3,100	1,140	4,240	550	43	27	95	715	530	650	100	130	90	1,500	830	708	1,538	445	200	645	
	前年比(%)	97.8	114.5	101.8	95.5	116.2	122.7	91.3	96.8	95.7	98.8	84.0	109.2	90.9	97.5	99.5	95.3	97.5	112.7	93.5	105.9	
平成31年	年計	実数(千m ³)	12,439	4,433	16,872	2,522	152	134	391	3,199	2,124	2,614	417	633	414	6,202	3,234	2,857	6,091	1,800	821	2,621
		前年比(%)	100.6	114.7	104.0	96.8	99.3	102.3	103.4	97.9	96.6	92.5	88.9	102.9	116.9	95.9	100.7	98.4	99.6	115.0	94.6	107.7
平成31年	1-3月 見通し	実数(千m ³)	3,200	1,150	4,350	580	35	30	90	735	490	640	98	170	110	1,508	800	669	1,469	400	195	595
		前年比(%)	101.8	107.8	103.3	82.7	79.5	107.1	68.7	81.3	99.6	97.6	95.1	96.0	93.2	97.5	101.8	93.8	98.0	90.9	99.5	93.6
4-6月 見通し	実数(千m ³)	3,200	1,190	4,390	580	35	25	95	735	570	650	100	170	100	1,590	820	774	1,594	420	215	635	
	前年比(%)	98.0	102.7	99.3	88.3	97.2	51.0	182.7	92.6	98.4	94.8	87.7	100.6	96.2	96.2	100.6	99.9	100.3	90.3	94.3	91.6	

平成30年12月25日現在

【グリーン購入法】に基づき事業者新認定・期限更新した28社

北海道 -④-0014 ダイアックス(株)	代表取締役 須藤 泰成
東北 -④-0021 (株)熊谷	代表取締役 熊谷 勝郎
東北 -④-0022 (株)赤石木材店	代表取締役 赤石 慎
東北 -②-0036 (株)イワペニ	代表取締役 上鶴 修
東関東 -④-0008 (株)スンエン千葉支店	代表取締役社長 中居 幸博
東関東 -②-0020 (株)石川商会住宅機材	代表取締役 小間 秀央
東関東 -①-0039 (株)エスアンドケイ	代表取締役 鈴木 高明
東京・長野-③-0124 (株)シンケン	代表取締役 市川 興一

東京 -③-0125 江間忠木材(株)	代表取締役 江間 壮一
東京 -②-0135 協同木材貿易(株)	代表取締役 栗島 育男
東京・静岡-①-0219 H・H・M	代表 相澤 義雄
東京・静岡-①-0220 (有)セイワン	代表取締役 望月 康史
東京S -④-0005 住友林業(株)木材建材事業本部	国際流通営業部長 細谷 洋一
神奈川 -④-0011 マルキュウ林業(株)	代表取締役 石井 慎也
神奈川 -④-0012 (有)銘正産業	代表取締役 渡邊 正平
神奈川 -④-0013 堀内木材(株)	代表取締役 宮田 昌幸
神奈川 -④-0014 (株)ヤマシタ	代表取締役 山下 章
神奈川 -④-0019 (有)桐栄木材	代表取締役 桐ヶ谷 利浩

神奈川 -④-0021 石橋ホーム資材(株)	代表取締役 石橋 由希夫
神奈川 -④-0022 濑沼木材(株)	代表取締役 濑沼 庄次郎
中部日本 -④-0024 トーア(株)	代表取締役 三輪 恭裕
関西 -④-0056 (株)ニッタク大阪営業所	所長 久保 智和
関西 -④-0057 通商(株)	代表取締役 梶屋 博英
関西 -④-0058 (株)クレマ	代表取締役 國松 隆夫
関西 -④-0059 タカダビルテック(株)	代表取締役 正司 茂希
九州 -④-0022 徳永産業(㈲)	代表取締役 徳永 安秀
九州 -④-0023 (株)オチアイ	代表取締役 野口 東吾
九州 -0119 (有)伏見商会	代表取締役 伏見 誠

森の逸品、銘木フローリング
銘樹
MEIJYU

選ばれし銘木の物語を、住まいへ

銘木を2mm厚の挽き板として
贅沢に使用した
「銘樹・ロイヤルセレクション」

永大産業株式会社
http://www.eidai.com

お客様相談センター
0120-685-110 E-mail:cs@eidai-sangyo.co.jp
受付時間 平日・土曜日 9:00~18:00
休業日 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始
詳しくはホームページをご確認ください。

Rustic Face
ラスティックフェイス
Rich J-Base | J-Base 天然木フロア
リッチ・Jベース(1本溝タイプ) | Jベース(2本溝タイプ)
Debut!

モダンでありながら、
素朴であたたかみのある風合い。
木目の織りなす床の質感。

株式会社ノダ 本社 〒111-8533 東京都台東区浅草橋5-13-6(三朋ビル) 0120-51-4066(お客様相談室)

キノウを超える、ミライへ。
DAIKEN

美を極めた床
細部まで書き届いたごだわり、幅広デザインと美しい木目の装い。
そして美を保つ機能性が、三位一体となり美しい空間を作り出します。

美は細部に宿る
時を経ても美しく
美しさ広がる

Trinity
トロニティ

美は細部に宿る
エッジにまで行き届いた
美しさへのこだわり。
美しさ広がる
空間の美しさを広げる
ワイドサイズ&9カラー。
178mm

時を経ても美しく
いつも、いつまでもキレイ。
美しさを守るために強さをもとす。
日焼け キズ 汚れ

大建工業株式会社 本社・大阪府大阪市北区中之島3丁目2番4号 (中之島フェスティバルタワー14F) https://www.daiken.jp/

「黒の鉄×無垢の木」フレームキッチン

ステンレスと無垢の木の質感をあらわに、
フレームや棚板など最小限のパーツで構成される黒いフレームのキッチンです。

見えるから調理道具にこだわってみたり。
気分によって収納のレイアウトを変えてみたり。
自分なりに使いこなす楽しみが生まれます。

暮らしを彩る
スタイルッシュな
キッチン、誕生。

WOODONE
株式会社 ウッドワン

〒738-8502
広島県廿日市市木材港南1-1
TEL 0829-32-3333(代)
https://www.woodone.co.jp/
ウッドワン 検索



概要

2018年10月の新設住宅着工戸数は83,330戸（前年同月比0.3%増）で先月の減少から再びの増加となった。

その内、木造住宅は50,211戸（同比2.4%増）で3カ月連続の増加となった。季節調整済年率換算値は95.0万戸で前月比0.8%増、3カ月ぶりの増加となる。

利用関係別では持家が25,949戸（前年同月比4.6%増）で先月の減少から再びの増加、貸家は35,225戸（同比7.3%減）で2カ月の連続の減少、分譲は21,394戸（同比9.2%増）で3カ月連続の増加となった。分譲の内訳はマンションが8,604戸（同比14.9%増）で3カ月連続の増加、戸建ては12,556戸（同比5.9%増）と7カ月連続の増加となった。貸家は減少したが、持家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比0.3%の増加となった。

国内・外合板の供給量

10月の国内合板生産量は27.5万m³（前月比104.7%、前年同月比98.3%）と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は26.4万m³（同比104.4%、98.4%）となり、出荷量は28.0万m³（同比115.8%、102.4%）で在庫量は18.3万m³と9カ月ぶりに減少し、出荷量は過去最高となった。

合板市況と今後の見通し

日本合板商業組合東京支部
東京都ベニヤ板問屋協同組合
新風会 猪爪 清和

輸入合板の10月度入荷量は27.6万m³（前月比133.7%、前年同月比119.2%）となった。国別入荷量はマレーシアが11.0万m³、インドネシアが8.5万m³、中国が5.6万m³となっており、若干多めに感じるが9月と10月の入荷量の平均は通常月並の入荷量であった。

今後の見通し

国内針葉樹合板10月度は出荷量28.0万m³と過去最高の数量となり、在庫量が減少し11月も好調な出荷量に支えられ更に減少すると思われる。非構造用合板も大幅に増加しており、引き続き継続されていくと思われる。12月以降の需要を考えるとこれからもしばらく強気で推移していく、今後の需要増加局面で品不足による混乱が起きると考えられるので、多少先の必要量も確保しておいたほうがよいだろう。

輸入合板の産地状況は、地域によって若干違いはあるが、原木供給は順調であり遅れていた契約残も消化された。マレーシアでは最低賃金引上げと伐採税上昇により価格は強気が継続されると思われる。国内では港倉庫で人手不足による入荷作業能力低下が起きており、また倉庫スペース不足もあり入港量減少が予想される。

ニチハ

PREMIUM SERIES
プレミアムシリーズ

業界初
変色・褪色
30年保証

住み続ける人のことを、
考えて、考えて、誕生した外壁材です。

人も住まいも、長く生きていく時代。
住まいの外壁材にも、人生に、長く寄り添う役割があると思う。
色あせにも塗膜のひび割れにも強い進化した外壁材。
それが、ニチハのプレミアムシリーズ。

商品のお問い合わせ・ご相談は、最寄りの弊社営業所または、下記 お客様相談室へご連絡ください。
【お客様相談室】TEL(052)220-5125 FAX(052)220-5157 【受付時間】月～金 AM9:00～PM5:00(土・日・祝日・年末年始・お盆休みを除く)
※写真はイメージです。※1 2017年11月時点 ※2 沖縄県の物件を除く。保証書発行には諸条件がございます。

「スタイロフォーム」が熱伝導率:0.022W/m·K以下を実現! Dow Building Solutions

Fランク相当断熱材 **スタイロフォーム™ FG**
JIS A 9511: A種押出法ポリスチレンフォーム保温板 3種 A-XPS-B-3b

- ✓ 従来のスタイロフォームの優れた性能を継承
スタイロフォームFGは、従来のスタイロフォームが持つ圧縮特性、酸素指数26パーセント以上、吸湿・吸水が少ない特性を有しています。
- ✓ ノンフロン・ノンホルムアルデヒド・PRTR物質[※]不使用
ダウ化工の製品開発コンセプトのひとつである、「地球に優しい製品作り」に一貫して取り組み、ノンフロン・ノンホルムアルデヒド(F☆☆☆☆等級)・4VOC基準適合製品であるのはもちろんのこと、PRTR法の化学物質も使用しておりません。
※PRTR物質:有害性が疑われる化学物質、トルエン・キシレン・塩化メチレン・エチルベンゼン等
- ✓ 既存製品の約20%の厚み低減が可能
- ✓ マテリアルリサイクル可能
- ✓ グリーン購入法特定調達品目(断熱材)適合

Dow ダウ化工業株式会社 本社 /〒140-0002 東京都品川区東品川2丁目2番24号 天王洲セントラル11階
フリーダイヤル ☎ 0120-113210(イミズイロ)
<http://www.dowkakoh.co.jp>

KANEKA カガクでネガイをカナエル会社

ZEH、HEAT20など、ますます高まる断熱要求に対応する“高性能断熱材”

カネライトフォーム®の3大特性は、

- 高性能だから壁の厚みを抑えられます
- 外張り、充填どちらの断熱工法にも使えます
- 吸水・吸湿性がほとんどありません

独立した小さな気泡の中に気体を閉じ込めるにより、熱伝導の三要素として知られる「伝導・輻射・対流」を抑制し、熱を効果的に遮断します。

カネライトフォーム® FX [熱伝導率0.022W/(m·K)] カネライトフォーム® SUPER-EX [熱伝導率0.024W/(m·K)] カネライトフォーム® SUPER-E-III [熱伝導率0.028W/(m·K)]

カネライトフォーム®は、建材トップランナー制度対象製品(区分名:押出法ポリスチレンフォーム断熱材)です。

製造 株式会社 カネカ Foam & Residential Tech Solutions Vehicle カネカケンテック株式会社 販売(問い合わせ先) 本社・東日本営業部 〒100-0011 東京都千代田区外幸町1-3-3 TEL:03(3596)7011 西日本営業部 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10 TEL:06(6205)3621

*カネライトフォーム®は、株式会社カネカの登録商標です。西日本営業部 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10 TEL:06(6205)3621

お問い合わせは、カネカケンテック株式会社へお願い致します。

木と生きる幸福 住友林業

木と生きる幸福。住友林業グループ

住友林業株式会社 〒100-8270 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館 <http://sfc.jp/> FAX:03-3214-2271

林野庁主催「平成30年度第3回木材需給会議」に先立ち
2018年12月5日の「平成30年度第三回合板需給検討委員会」
(日本合板工業組合連合会・日本木材輸入協会・日本合板商業組合)で
合板需給見通しを検討しました

国産合板の需要

1. 平成30年第3四半期の実績について 今回 (776千m³)

(実績数量の背景、前年同期との比較等)

需要環境は、住宅着工数が第3四半期も引き続き前年比減はあるが前年水準に回復傾向。需要は、豪雨や地震による災害の影響もあり、回復スピードは足踏み状態となっていた。出荷量は前年同期の-5.2%の776千m³となり、前回予測より減少、第2四半期実績にもわずか届かなかった。

2. 平成30年第4四半期の見込みについて 今回 (840千m³)

(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)

需要環境は、住宅着工数における貸家は厳しいものの、持家と分譲住宅は前年水準の回復傾向が見込まれる。針葉樹構造用合板の面材耐力壁や非住宅用途、非構造用ではフロアーテーブル、型枠合板の用途向け拡大が一層進む見込み。需要は、大手プレカット工場や大手住宅メーカーは活発で、中小プレカット工場や中小工務店の動きも回復してきている。地域別では、西日本豪雨災害の復旧・復興要因もあり西高東低で推移の見込み。出荷量は、前年比+0.2%だが第3四半期より大きく増加見込み。

3. 平成31年第1四半期の見通しについて 今回 (780千m³)

(見通し作成の根拠)

供給(生産)は、季節的要因から生産効率が下がる時期、また残業規制などへ対応により前年水準の見通し。需要環境は、消費増税における駆け込みなど従来比較で小規模ではあるが増加要因となり、住宅着工数の持家や分譲住宅は前年より増加する見通し。また建築基準法の一部改訂により非住宅分野での建築物の木造化も追い風となり、用途の拡大が一層期待される見通し。

(前年同期との差異について)

出荷量は前年比+0.3%、780千m³となる見通し。

4. 平成31年第2四半期の見通しについて 今回 (780千m³)

(見通し作成の根拠)

第1四半期同様、住宅着工数は消費税前の駆け込みへ向けて、持家などの木造住宅の着工数は本格的に回復してくる見通し。

(前年同期との差異について)

出荷量は前年比+0.4%、780千m³となる見通し。

5. その他注目点等

建築基準法の一部改訂(耐火構造の要件見直し)は、建築物の木造化を一層推進するものとなり、針葉樹構造用合板の拡大につながってゆくことが期待される。

平成30年度合法木材・持続可能木材の供給認定事業者研修会の実施

從来の「合法木材等の供給認定事業者研修会」に併せて、「木材関連事業者のクリーンウッド法登録推進セミナー」を実施しています。なお、認定事業者の研修修了者には受講証明書を発行します。まだ認定事業者でなくとも、今後、認定申請を検討される木材関連事業者にも広くご参加いただけます。

今年度の支部単位の実施計画について、ご要請・ご要望を日商本部事務局へお寄せください。

開催日程・会場が確定している認定事業者研修会

支部	2019年	会場
神奈川	1月31日(火)	クルーズクルーズ横浜
東北(北地区)	2月8日(金)	岩手県情報交流センターイーナ

合板 短期需給見通し

(Unit : 1,000m³)

	供給	需 要 (出荷)			期末在庫		
		計	国内製造	輸入合板	合計	国内製造	輸入合板
2018(H30)7-9	前回予測 実績	(1,531) 1,463.823	(810) 803.302	(721) 660.521	(1,480) 1,460.000	(800) 776.096	(680) 683.904
10-12	前回予測 見込み	(1,568) 1,538.000	(840) 830.000	(728) 708.000	(1,550.000) 1,580.000	(830) 840.000	(720) 740.000
	計	6,090.000	3,234.000	2,856.000	6,063.000	3,171.000	2,892.000
2018(H31)1-3	前回予測 見通し	(1,510) 1,469.000	(810) 800.000	(700) 669.000	(1,470) 1,500.000	(700) 780.000	(700) 720.000
4-6	見通し	1,594.000	820.000	774.000	1,490.000	780.000	710.000

輸入合板の需要

1. 平成30年第3四半期の実績について 今回 (684千m³)

(実績数量の背景、前年同期との比較等)

入荷は前回予測より大きく下回った。需要(出荷)はほぼ見込み通りの低い、前年同期水準となった。出荷量は、前年比+0.4%、684千m³となった。

2. 平成30年第4四半期の見込みについて 今回 (740千m³)

(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)

供給(入荷)状況において、コンテナの配船比率が上がり関東主要港の在庫スペースや荷役への影響が高まっている。このため滞船回避による供給(入荷)量は減少し、前年比でも低い水準となる見込み。需要面は、生型枠用合板や構造用合板などの品薄感の強いものと過剰な入荷量で在庫が積みまとっているアイテムによる差が大きい。需要環境は、住宅着工数の貸家は引き続き厳しいものの、持家と分譲住宅前年水準を超えると見込まれる。需要は、国内構造用合板への転換や、産業用需要におけるフロアーテーブルの国産への代替は継続して進んでいる。出荷量は前年比-0.4%だが、第3四半期より増加の740千m³となる見込み。

3. 平成31年第1四半期の見通しについて 今回 (720千m³)

(見通し作成の根拠)

第1四半期の供給(入荷)量は大きく減少する見通し。これに対し出荷は、住宅着工数の前年超えへの回復が予想されることから持ち直し、不足感のあるアイテムの強い引き合いは続く見通し。

(前年同期との差異について)

出荷量は前年比+1.3%、第4四半期より減少し720千m³となる見通し。

4. 平成31年第2四半期の見通しについて 今回 (710千m³)

(見通し作成の根拠)

現地における丸太不足の改善や価格上昇のピークアウト、日本以外の輸入国の引き合いの減少などから供給(入荷)の回復見通し。また2020年1月以降船舶のSOx規制への改修対応が年後半より始まるることは、相対的に上期の供給が増える一因となる見込み。一方、需要は、国内合板等への代替に優位性のあるアイテムでは変わらず、入荷量に見合った水準は出荷されてゆく見通し。

(前年同期との差異について)

出荷量は前年比-6.2%、710千m³。

5. その他注目点等

国際海事機関(IMO)における日本の提案を含むSOx規制の統一的な実施のガイドラインを2019年夏までに策定することが合意されている。

東京の合板卸売り価格 (円)

※東京都ベニヤ板問屋協同組合、日本合板商業組合「市況通信」より

(注) 1車単位(10トン)間屋売り価格・90日手形(JAS製品)

品 目	11月28日	前週比	12月5日	前週比	12月12日	前週比	12月19日	前週比
ラワン JAS F☆☆☆☆	2.3mm T2	650	0	650	0	650	0	650
	4.0mm "	780	0	780	0	780	0	780
	5.5mm "	940	0	940	0	940	0	940
	9.0mm "	1,540	0	1,540	0	1,540	0	1,540
	12.0mm "	1,840	0	1,840	0	1,840	0	1,840
針葉樹構造用 (ネダン)	F☆☆☆☆ 12mm C-D	1,150	0	1,150	0	1,150	0	1,150
	F☆☆☆☆ 24mm 実付	2,570	0	2,570	0	2,570	0	2,570
	F☆☆☆☆ 28mm 実付	2,870	0	2,870	0	2,870	0	2,870
輸入・型枠用	12mm JAS 製品	1,480	0	1,480	0	1,480	0	1,480
輸入・構造用	F☆☆☆☆ 12mm JAS 製品	1,500	0	1,500	0	1,500	0	1,500

暮らしと
地球を
考える。



JKホールディングスグループが扱う「木質系建築資材」。これらは再生産が可能で循環型社会の実現には不可欠な森林資源からつくられています。木の性質である呼吸は、炭素を貯蔵し、大気中の二酸化炭素量のバランスを保つ役割を持っています。私たちは、木が地球環境を支える重要な存在であることを理解し、適切に管理された森林資源が人の暮らしと地球環境の未来を支えていくと考え、その保全に貢献し、快適で豊かな住環境を創造します。



JKホールディングス株式会社